

令和5年度第1回 豊川市子ども・子育て会議 会議録（要約）

令和5年6月26日(月)

午後2時00分から

於：勤労福祉会館 視聴覚室

1 委員等紹介

(略)

2 あいさつ（会長）

白垣会長によるあいさつ

(略)

3 議事

(1) 子ども・子育て支援事業の進捗状況について（令和4年度実績）（報告）

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

・「相互連携（幼・保・小の充実）」について、特別支援教育コーディネーター研修の回数がここ数年変化ありません。対応できているのでしょうか。（事務局）後日確認してお答えする。特別支援教育コーディネーターを52名配置し、対応しております。

・「生活困窮世帯学習支援事業」について、前回の会議でも会場を分散開催したいと言われていましたが、現在の状況を教えてください。

（事務局）検討中です。地域の身近なところで送迎なしで開催できればよいという方向に向かっていますが、利用者が少ないという難点があります。生活困窮世帯の中にはひとり親家庭もあると思います。そのひとり親家庭に対する学習支援についても今後進めていく必要がありますので、子育て支援課も連携しながら進めていければと検討を始めているところです。

・「ふれあい体験の実施」については、私たちも参加させていただいており、中学生からは自分たちが親にどれだけ大事にされ育ててもらったかよくわかる、男の子からは自分が親になったときに、子育てに参加していけないとだめだなと実感したと感想が出ていたことが印象にあります。今後の方針の中に、中学校の開催が少ないとあります。去年中学校で開催されたのは1校だけでした。小学校で開催することにも意義はありますが中学校で開催することは本当に重要だと思っています。保健センターからも学校への働きかけを積極的に進めてほしいと思います。

(事務局) 中学校の単元の関係で、その枠を取れないという課題があることも聞いています。

- ・「こども食堂支援事業」については、補助制度が実施されるようになってすごく嬉しいことです。この10件は制限があつての10件なのでしょう。こども食堂の活動内容を確認できると思います。

(事務局) この10件は補助団体数です。実際の食数は年間で1,995食でした。補助については、月に20食を上限としていますので、頭打ちとなっている団体もあります。補助数としては1,728食となっています。ほとんどの団体では食事の提供を通して、居場所を提供するスタイルをとっていますが、学習支援や食料の配布を行っているところもあります。ひとり親家庭に限定した食堂もあり、そこでは食事の提供のみとなっています。企業とコラボをして面白いことを開催しているところもあります。

- ・「相互連携(幼・保・小の充実)」について、特別支援教育コーディネーターが導入されることになり、各学校に特別支援教育コーディネーターが置かれ、前向きに取り組んでいる学校もあります。岡崎市では新たにスクールソーシャルワーカーを置き始めており、その人たちが活躍するようになっています。
- ・「ふれあい体験の実施」について、家族の形態が変わってきていること、出生率も下がってきている状況があります。開催することについて、そのような社会的な事情がいろいろ絡むという難しい問題があると思います。
- ・「相互連携(幼・保・小の充実)」について、各小学校特別支援教育コーディネーターによる各園への訪問の回数は、令和3年度と比べて多くなっています。小学校やコーディネーターによっても違いはあると思いますが、いろいろな学校で支援学級が増えていきますので、ここには数として表れていないですが、訪問の回数については二桁を超えていると思います。
- ・「ふれあい体験の実施」について、保健センターからは学校で開催してほしいという話はいただいております。家庭科の授業で行うことが多いです。先生たちはやりたいと言っておりました。ただコロナのため学校に来られなかったことや、5学級などその回数だけ開催するのは難しいです。コロナが収まってきたので、少しは増えてくるという気はしています。

(2) 令和5年度保育所整備事業について(報告)

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

- ・「睦美保育園【建替え】」について、資料2-1の1ページ、3号認定の0歳児、東部の評価C/Dが45%となっています。実際の確保方策が33人のところ利用希望者数が13人しかいません。令和8年度途中で確保方策が増加するとC/Dのパーセントが45%より下がることがありま

す。

(事務局) 確保方策を増加すればパーセントが下がることもありますが、子ども・子育て支援事業計画の見直しや、地域のニーズ、近隣の状況も踏まえて定員を考えていきます。ただ全体としては3歳未満児のニーズは増えており、睦美保育園の整備においても確保方策を増やしていきたいと考えています。

4 その他

(事務局より)

・第3期子ども・子育て支援事業計画の策定と次回の会議の予定について